

任意事情聴取時の状況

1) 期間: 2018年12月10日より2020年3月11日まで
約1年4ヶ月に渡り聴取された。

2) 聴取回数: 合計34回(拒否した事はない)
会社合計240回

※: 本人が供述したものでない
すべし完成されたもの
サインを強要されたものでず。
※: 逮捕すると恐迫された。
※: 修正には応じてもらえ
ていた。
※: 謄写されたもので、無許可

3) 場所: 東京都, 原宿警察所, 7階
(2020年3月11日のみ, 東京警視庁本部にて, 逮捕時の弁解録取
及び取調べ1回のみ)

4) 取調官: 安積伸介 警部補, 山川理(一時交代あり, 他の者へ)

5) 供述調書作成状況:

5.1: 34回の取調べ中, 約一回おき程度に調書が作成された。その合計は
約20回程度と思われ。

5.2: その調書(約20)のほとんどは全て取調べ室に入室以前に完全
されており, PCよりプリンターに印字され見せられた。その日聴取された

5.3: その内容は供述した内容と大きく恣意的に変更されており, 誇張長
さ水, 話した内容とは大きく変更されていた。
私は日本警察はこの様な事をするのかと失望した。

5.4: その調書は供述していない, 偽り, 認識していないから。解っているから
知って, 杜撰に, 等々話していない文言が多く付加され,
且つ, 内容も大きく変更されていた。文言の入れ替え交渉された

5.5: 調書は1度読みその修正されるべき文言を指摘する方法で行なわれた
が, 毎回10ページ以上のほぼ文章と読み, 指摘箇所に対して
ペンも持たされず, 一字一句覚え修正を求めるのは不可能だった。
一部見落としもあった。

修正を求めた部分はどのようにすれば良いかと問われ, 削除する場合
はその他の部分に文言の付加を要求され私の要求とおり
変更されなかった。又, どのように変更すれば良いか適切な文言が書ける場合は
手配せざるを得なかった。

5.6: 特に無許可で輸出したと言う部分は, 許可が必要とされる仕様
であるので結果的に無許可で輸出したとあるなら, と何回言っても
その部分の言葉は何回要求しても入れてもらえなかった。

毒素, 病原菌が
できろ装置
という文言が
削除されると
→ 定形機が
該者となる?

5.7: 何回修正を要求しても供述したとおり記載されず。
 そのようでは今後逮捕される事になるが、感いですが、
 本気だと言われ、仕方なく内容が真実と大きく違っていたが、
逮捕と言ふ恐怖感やサイン、指印はした。

5.8: ほとんどの聴取は午前10時から昼食1時間をあけて午後3~4
 時頃まで一日を繰り返された。休憩は約1~2時毎にあった。
 こちらは何時までやってもかまはないと言われ、サインは帰さないから
 使用して

5.9: タタコの質問はPC 端から端まで0~100%の殺菌を霧で表わし
 ある程度まで菌を死滅させる事が可能ならそれは殺菌できたと
 言われる、ほぼ毎回そのような事と言われ、洗脳され、そのお
 解釈であらば、何10回と(洗脳)
 ある程度菌は死ぬかと思つたと答えた。
 熱風が投入できたら、①はすべて該当と言われた

5.10: 他の人(社長、相嶋さん)はすでに認めていたのを認めると言われ、
 偽った情報を与え、サインを強要され、サインはした。
 又、他の者と良く相談し、口裏を合わせて来るように良く言われた。

5.11 ~~削除可~~ ~~大腸菌が100°Cで死ぬ~~ ~~当時知らぬ~~
~~はどうかおれ変更すれば良いかと聞かれた~~
 変更不可(時制)(当時認識し供述時の認識が)不明確に
 記載されているのを誤り、サインした。

5.12 「空炎き」と言ふ文字が調音にない。
 「ガイダンス」

「空炎き」とは私が熱風の投入し、噴霧する方法で通常の
 運転では行わない操作であるが使用していた言葉である
 が一切調音に存在しない。

恣意的歪曲
 時前作成
 交換条件

不十分な修正、意味不明

脅迫、洗脳

「ガイダンス」: CISTECのガイダンスにより

①は全て該当、熱風は

1) 時前作成

2) 文言のトレード

3) 見落とし、修正された

4) 時制曖昧

5) 執要な洗脳

①恣意的歪曲

②はサインした、有時期は

1) サインしたと帰さない

2) 恐喝 → 逮捕

3) お前だけ

4) 洗脳、誘導

証拠:

・ 空炎、ガイダンスと言ふ言葉ない

・ 文脈不明

・ 毒素病原菌 ← 定形器

・ 汎用品 → 意味不明

5) 無許可(結果的)